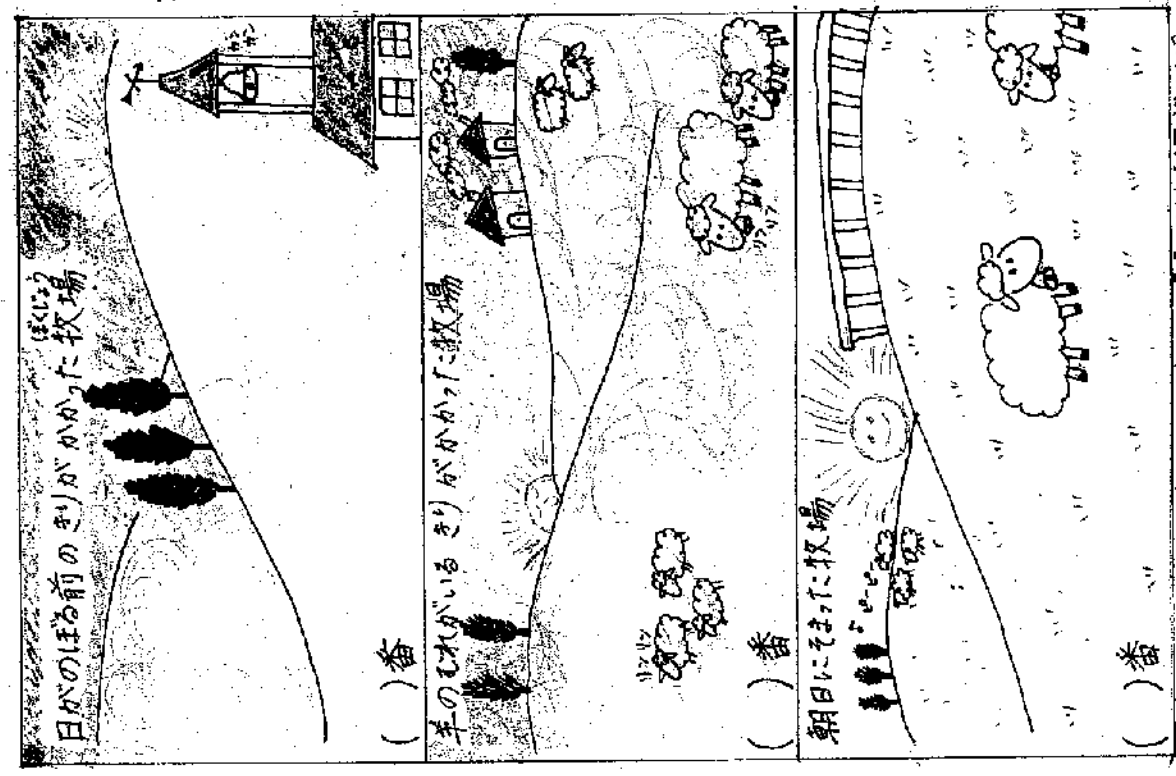


☆ みなさんは「まきば(ほくじょう)へ行っただことがありますか？
ないまきばに、かねや羊の音、ふえの音がひびく様子を
そうそうしながら歌ってみましょう。

教科書 16, 17 ページ



うたのころ

まきばの朝

一、ただ一面に 立ちこめた
まきばの朝の きりの海
ポプラなみ木の うすりと
黒いそこから いさましく
かねが鳴る鳴る カンカンと

二、ちう起き出した 小屋小屋の
あたりに高い 人の声
きりにつつまれ あちこちに
動く羊の いく群れの
すが鳴る鳴る リンリンと

三、今さしのぼる 日のかげに
ゆめからさめた 森や山
あかい光に そめられた
遠い野末に 牧童の
笛が鳴る鳴る ぴーぴーと

☆ いまがなをな言葉は教科書を調べよう

おうちのか 四年生になると「自分か来しむ歌」から「聴く人と喜びを共有する歌」と高質な内容になります。朝のまきばにはる気持ちは、聴く人にも伝わるよう歌ができています。◎

四 やってみよう！！

1. 左の絵はそれぞれ何番の歌詞を表しているでしょうか。()の中に番ごりを書きましょう。
2. 歌詞の表す様子を思いうかべながら歌ってみましょう。歌った数だけ下の羊を○でかきましょう。